

平成26年度 第1回学校評議員会 報告

平成26年6月25日(水)

15:50～16:50

場所：盛岡二高 応接室

進行：副校長 記録：総務課

○出席者 学校評議員5名 学校職員9名

○日程 14:30 受付 14:45 授業参観 14:50 評議員会(～16:50)

1 開会のことば 【副校長】

職員・評議員 自己紹介

2 校長挨拶 【校長】

学校評議員をお引き受けいただいたことに感謝する。学校の様子などをご報告し、皆様より忌憚のないご意見やご提言をいただければありがたい。学校評議員会は年2回開催の予定で、2回目は2月下旬を予定している。この会は、学校と地域住民、保護者、関係機関の皆様との協働を目的としている。1年間よろしく願いたい。(この後、委嘱状交付)

3 平成26年度学校概況説明 (質疑含む)

ア 運営方針について(資料：平成26年度運営方針、経営計画) 【校長】

(1) 学力向上・進路実現 「授業第一」

教えるべきものをきちんと教える。引き出すべきものを引き出す。授業力向上とこまめな進路相談が必要と考える。国公立大合格者は、かつては100名に迫る時代があったが、今は遠のいている。現在取り組んでいる「教えて考えさせる55分授業」の充実を通じて、60名復活を目指す。

(2) 部活動・特別活動等の隆盛 「東北そして全国へ」

今年度は、全国大会に体操・なぎなた・卓球・箏曲・視聴覚・書道が出場する。この他にも、多くの部が県大会の上位に進出している。

(3) 豊かな人間性の育成 「品性を磨く」

日頃から、品性を磨き、どこから誰が見ても二高生として恥ずかしくない生徒を育てたい。

(4) 開かれた学校づくりの推進 「連携・協働」

8月下旬に「学校へ行こう週間」がある。ぜひ学校の様子をご覧いただきたい。

(5) 組織力の向上とコンプライアンス

組織力を向上させ、教師としての責任感と使命感を自覚しながら進めてゆきたい。

○「いわての復興教育」の推進

「自分の身は自分で守る」を基本に防災教育を進めている。復興交流事業などを推進したい。

イ 各課の重点目標について 【各課主任】

(1) 総務課

総務課は生徒には遠い存在だが、生徒や職員の後ろ盾となり、基盤を整える仕事。生徒や職員の状況を

よく見ながら関わっている。

諸行事については、特にPTA、保護者との関わりを大切にしている。「白梅振興会」「白梅同窓会」は総務課の担当業務である。120周年が3年後に迫っている。これから推進組織を作ることになるが、同窓会・PTAと連携を十分に図っていききたい。

全国高等学校PTA連合会岩手大会が、来年8月下旬に産業文化センターアピオと盛岡市アイスアリーナを中心に開催される。1万人規模の大会となる予定なので、各方面の協力を仰ぎたい。

(2) 教務課

学力向上を第一と考えている。今年度から55分授業を実施。チャイムからチャイムまでの授業が基本。昨年度までの45分授業と比べて10分延びた。その分、中身の充実（教えて考えさせる授業）を図り、予習・復習を前提とした授業を展開している。

生徒には家庭学習等の自主的な取組を促している。将来の進路目標を明確にさせながら、学習意欲を向上させていきたい。また、部活動の顧問から学習面でも激励してもらいながら、学習習慣を身につけさせたい。

6月中旬の前期中間考査では、期間中に多くの生徒が学校に残り、先生に質問する姿が多く見られた。しかし、考査が終わるとその様子も見られなくなる。学習時間調査によると、2年生で学習時間が減る傾向があるので、頑張らせたい。

授業力向上に関しては、情報・研究課が中心となって研究を進めている。前期で全ての教員が授業公開を行う予定。来年度からの「観点別評価」実施に向けて準備している。

7月31日は中学生一日体験入学が実施される。

【副校長】

昨年度までは45分7コマの授業。今年度から55分6コマに切り替えた。昨年度末の試行期間を経て、スムーズに移行できたが、まだまだ試行錯誤の状態。55分に変更した背景には、学習指導要領が大幅に変わり、言語活動や観点別評価が重視されるようになったことがある。10分延びたことにより、小テストやグループワークを行いやすくなった。授業の振り返りも大切にするようになった。

(3) 生徒指導課

生徒との信頼関係を大切にしながら、次のような方針で取り組んでいる。

① 生徒規律の確立

8時15分に着席。この時間に昇降口を施錠し、遅刻者には個別に指導している。

スマートフォンの使い方について早期に指導している。防犯の意味もあるが、特に人間関係を壊す危険について訴えている。

② 生徒会活動

学業と部活動との両立が難しいという声が多いが、何とか頑張っている生徒が多い。

③ 安全指導

今年度から「交通事故記録カード」を持たせている。本校では、例年登下校時の事故が数件発生している。二高生は事故に遭うと慌ててしまい、適切な対応ができないケースが多い。このカードを利用して、適切に対応してほしい。

【副校長】

部活動はよく頑張っている。盛岡地区ではどの部もトップレベル。東北大会にも多く出場している。同窓会から激励費を頂戴し、感謝している。

(4) 進路指導課

進路指導課の目標は、校訓のとおり「進取・清楚・強健」である。生徒はコツコツと頑張っているが、

受け身の生徒が多い。主体的に取り組めれば、もっと進路意識も向上するはず。そのためにタイムリーな情報提供に努めたい。進路指導の面では、良いものを次につないでゆく力を強化していくことが課題。今年度は、3年間を見通した「進路シラバス」(指導計画)を作成した。

【副校長】

推薦入試に向けて、職員一丸となって親身に指導している。このような二高の良さを生かして、生徒の進路実現を図りたい。

今年度、「進路の手引き」をリニューアルした。従来はデータ中心の構成だったが、新たに第二部として、学費一覧、国公立大・私立大の入試のしくみの違い、推薦入試の内容など、大学入試に関する説明を大幅に盛り込んだ。また、生徒が自主的に関係書類をコピーして提出できるように、進路関係の「様式集」を載せた。もちろん「合格体験記」も掲載。

「進路シラバス」を利用することで、各学年とも3年間を見通した進路指導ができる。生徒も3年間の心構えや、流れがわかる。計画的な進路指導に役立てたい。

(5) 保健厚生課

① 健康管理。生活全ての基盤だが、受け身の生徒が多い。生徒自身の自己管理が第一目標。

- 今年度の健康教室
- 1年生「食育」(講師：管理栄養士)
 - 2年生「性教育」(講師：産婦人科医)
 - 3年生「心の健康」(講師：パーソナルコーチ)

教員対象救急法講習会(6月12日開催)

近年、歯科保健に取り組んでいる。二高生は菓子類の摂取量が多く、虫歯の生徒が多い。「入学のしおり」には「昼休みには歯磨きをしましょう!」と明記している。

② 清掃活動。自分で気づいて掃除する姿勢が不十分。自主的に清掃・美化に努める生徒を育てたい。ペットボトルの分別処理は、良い習慣となりつつある。学校を挙げて取り組んでいきたい。

【副校長】

盛岡市のゴミ分別を学校にいるうちに知り、分別の習慣をつけると良い。進学後は、一人暮らしになる生徒も多いので、必要な習慣である。

菓子類の持込については、中学校ではどうか?

【評議員】

中学校では、菓子類は持ってこないよう指導している。

【副校長】

高校になると持ってくる。登校の途中で買ってくる生徒も多い。「補食」と考えるなら、時と場合と中味を考えてほしい。

【評議員】

自動販売機では、水とお茶だけの販売とのことなので、問題はおやつと思われる。

【評議員】

朝からおやつを食べると聞く。「補食」ということではないのではないか。

(6) その他

【総務課】

主要行事一覧に一部訂正。文化講演会は10月22日(水)に変更。今年は、二高35回生の野田ヒロ子さん(声楽家)を講師にお願いした。ぜひご参加を。

4 協議

【評議員】

「交通事故記録カード」の取組はすばらしい。

【副校長】

二高生の場合、自転車に係る交通事故が多い。今年は3件で、バスとの事故、他校生との事故、交差点での事故。いざという時に活用してほしい。

【評議員】

授業態度が立派だった。学校に誇りを持ち、二高の良さをどんどん発信してほしい。

【評議員】

二高の前を長年通勤してきたが、生徒の様子を見てみると、現在の二高は大変落ち着いているように感じる。小学校でも中学校でも高校でも、自己有用感の低さが大きな問題。自分の学校に愛着を持つことは大事である。

【評議員】

同窓会としては、過渡期にあると認識している。同窓生たちが経験した古き良き時代と比較すると、女子校の立場がとても難しい。先生方も苦勞していると思う。今の時代は、社会も女性の力に期待している。自立心を持たせることが大切。勉強だけでなく、他の人に頼らないことを教える必要がある。二高生は、中学時代のんびり過ごしてきた生徒が多い。たたけば応えてくれるのではないか。

【副校長】

「学校案内」をリニューアルした。二高の伝統である「生き方指導」がよく見えるようにした。二高生は、元気、活発、自立心旺盛である。この校風で生徒は磨かれてゆく。

【評議員】

以前総務課から、地域行事への高校生の参加について提案があった。町内会で議題にしてみたが、なかなか意見が出なかった。地域と学校の連携については、小学生は資源ゴミ回収、中学生は歩道の清掃、高校生はとなると難しい。逆に、学校から地域に期待するものがあれば教えてほしい。

「進路の手引き」はよくできている。3年間の行事がわかる。

経営方針と重点目標には多少違和感がある。たとえば、経営方針にある学力向上について、教務が関わるのはわかるが、他の課はどう関わるのか？豊かな人間性の育成については、各課の重点目標がどう関わるのかわからない。これらについて整理が必要ではないか。

【校長】

経営方針は、各課横断的な内容になっている。各課とどう繋がるか整理していきたい。

学校の中だけでは気づかないことが多々ある。長年地域で二高を見てきた皆様のご意見を、生徒や職員にも伝えていきたい。

お気づきの点があれば、ついでの際にぜひお立ち寄りいただいお聞かせいただきたい。

本日は、貴重なご意見を頂戴し、心から感謝申し上げます。次回もよろしくお願ひしたい。

5 閉会のことば 【副校長】